

野村世界業種別投資シリーズ (世界ヘルスケア株投資)

運用報告書(全体版)

第14期(決算日2023年6月28日)

作成対象期間(2022年6月29日~2023年6月28日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
なお、当ファンドは、2023年3月23日に信託期間を延長する約款変更を行ない、信託期間終了日は2027年6月28日となりましたので、ご留意下さい。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託期間	2009年8月27日から2027年6月28日までです。
運用方針	世界各国のヘルスケア関連企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。株式への投資にあたっては、定量分析により銘柄群の絞込みを行なった後、各国の医療制度・技術の進展動向等を考慮しつつ、成長性、利益構造、財務内容などの観点からファンダメンタルズ分析を行ない、組入銘柄を決定します。また、個別銘柄評価とポートフォリオ全体のリスク特性などを総合的に勘案し、ポートフォリオを構築します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
主な投資対象	世界各国のヘルスケア関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時~午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価 額			ベンチマーク		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金	期 騰 落	中 率			
	円		円		%	%	%	%	百万円
10期(2019年6月28日)	23,924		730		9.2	7.4	99.0	—	1,300
11期(2020年6月29日)	25,132		800		8.4	13.0	95.0	—	832
12期(2021年6月28日)	30,561		1,100		26.0	29.1	95.1	—	776
13期(2022年6月28日)	36,848		1,400		25.2	18.5	93.9	—	1,671
14期(2023年6月28日)	39,139		1,550		10.4	9.2	97.2	—	4,319

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* ベンチマーク（＝MSCI All Country World Health Care（税引後配当込み・円換算ベース））は、MSCI All Country World Health Care（税引後配当込み・ドルベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。
 * MSCI All Country World Health Care（税引後配当込み・ドルベース）は、MSCIが開発した指数で、同指数の著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (出所) MSCI、ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

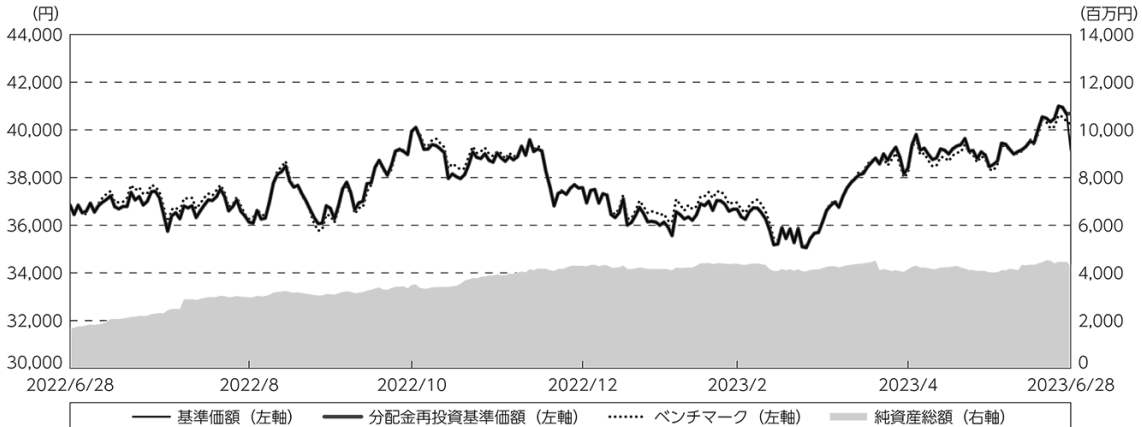
年 月 日	基 準	価 額		ベンチマーク		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落	率	騰 落	率		
(期 首)	円		%		%	%	%
2022年6月28日	36,848		—		—	93.9	—
6月末	36,840		△ 0.0		△0.1	92.3	—
7月末	37,146		0.8		1.5	94.8	—
8月末	36,131		△ 1.9		△1.6	95.7	—
9月末	36,709		△ 0.4		△1.2	94.7	—
10月末	39,940		8.4		8.5	95.6	—
11月末	38,647		4.9		5.6	97.1	—
12月末	37,573		2.0		2.0	97.1	—
2023年1月末	36,001		△ 2.3		△1.1	96.2	—
2月末	36,672		△ 0.5		0.3	96.0	—
3月末	36,624		△ 0.6		△0.4	96.6	—
4月末	38,402		4.2		3.7	96.7	—
5月末	38,453		4.4		4.1	97.3	—
(期 末)							
2023年6月28日	40,689		10.4		9.2	97.2	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：36,848円

期 末：39,139円（既払分配金（税込み）：1,550円）

騰落率： 10.4%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2022年6月28日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、MSCI All Country World Health Care（税引後配当込み・円換算ベース）です。ベンチマークは、作成期首（2022年6月28日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

- (上昇) 米大手医療機器会社や米大手医療保険会社の2022年4－6月期決算が市場予想を上回ったこと、7月の米国CPI（消費者物価指数）上昇率が前月と比べ減速したことで、FRB（米連邦準備制度理事会）が金融引き締めペースを緩めるとの期待が高まったこと、為替市場で米ドル高・円安が進行したこと
- (下落) FOMC（米連邦公開市場委員会）で市場予想通りに利上げ幅縮小が実現したものの、継続利上げの必要性を強調するパウエルFRB議長の発言をきっかけに、景気後退と企業収益悪化への警戒感が高まったこと、これまでディフェンシブ性の高さが選好されてきた製薬企業などを中心に売られたこと、為替市場で米ドル安・円高が進行したこと
- (上昇) 米インフレ指標に鈍化傾向がみられたことから利上げ打ち止め期待が高まったこと、欧米の大手製薬企業の2023年1－3月期決算が市場予想を上回ったこと、為替市場で米ドル高・円安が進行したこと

○投資環境

当期の世界のヘルスケア株は、世界的な金融引き締めに伴う景気減速への警戒感から下落して始まりましたが、米大手医療機器会社や米大手医療保険会社の2022年4－6月期決算が市場予想を上回ったことなどが好感され、上昇に転じました。さらに7月の米CPI上昇率が6月と比べ減速したことで、FRBが金融引き締めペースを緩めるとの期待が高まったものの、発がん性の疑いから、2019年に世界的に自主回収となった胃薬を巡る訴訟への懸念が高まったことから製薬株を中心に売られたことなどや、8月下旬に、パウエルFRB議長がインフレ抑制を最優先に利上げを継続する方針を示し早期の利下げ期待が後退したことから下落に転じました。その後も、FRBが金融引き締め政策を継続する姿勢を改めて示したことから投資家のリスク回避姿勢が強まり続落しました。

10月中旬以降は、相対的に企業業績の安定性とインフレ耐性が強いと考えられた製薬株などを中心として堅調に推移し、大手製薬会社がガン治療薬や新型コロナウイルス向けワクチンの業績寄与から市場予想を上回った決算を発表したこと、大手医療保険会社の決算で経費率の改善が市場予想を上回ったことや、欧米の金融当局が利上げペースを減速させるとの見方が広がり、投資家のリスク回避姿勢が弱まったことから上昇しました。10月の米CPI上昇率が市場予想を下回ったことも好感され上昇基調を維持しました。12月には、FOMCで市場予想通りに利上げ幅縮小が実現したものの、継続利上げの必要性を強調するパウエルFRB議長の発言をきっかけに、景気後退と企業収益悪化への警戒感が高まったことや、これまでディフェンシブ性の高さが選好されてきた製薬企業などを中心に売られたことから、下落展開となりました。

3月に入ると、パウエルFRB議長が利上げペースの再加速や長期化の可能性を示唆したことで、米利上げ早期停止への期待が後退したことや、米金融機関の経営破綻やスイスの大手金融グループの経営不安をきっかけに信用不安が広がったことなどから下落しましたが、世界各国の規制当局が積極的な流動性供給などを行なったことや、経営不安が高まっていたスイス大手金融グループの救済買収が合意に至ったことなどから下げ止まりました。

その後は、米欧金融システムへの懸念が後退したことや、米インフレ指標に鈍化傾向がみられたことから利上げ打ち止め期待が高まったこと、欧米の大手製薬企業の2023年1－3月期決算が市場予想を上回ったことなどから上昇する一方、米地銀を巡る信用不安の再燃や米債務上限問題を巡る先行きの不透明感などが意識されたことなどから、一進一退の動きとなりました。期末にかけては、6月のFOMCにおいて年内に追加利上げが行なわれる可能性が言及されたことなどを受け上値の重い展開となりましたが、当期において世界のヘルスケア株は上昇しました。

一方、為替市場ではFRBが金融引き締め政策を継続するとの見方が広がったことなどから日米の金利差が拡大したことなどを背景に2022年10月下旬にかけて米ドル高が進行しました。その後、FRBの利上げペースの減速に加え、日銀が金融緩和策を見直し実質的な利上げに転換したことから日米金利差の縮小期待が強まり2023年1月にかけて米ドル安・円高が進行しましたが、FRBの利上げ継続長期化観測などを受けて再び日米金利差が拡大したことで期末にかけて米ドル高が進行し、当期において米ドル高・円安となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 地域・国別配分では、米国、英国などをオーバーウェイト（ベンチマークに比べ高めの投資比率）とし、日本やドイツなどをアンダーウェイト（ベンチマークに比べ低めの投資比率）としました。
- (2) 業種別配分では、医薬品、ヘルスケア機器・用品をオーバーウェイトとし、ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス、ライフサイエンス・ツール/サービス、バイオテクノロジーなどをアンダーウェイト、ヘルスケア・テクノロジーなどを非保有としました。
- (3) 個別銘柄では、ユナイテッドヘルス・グループ（米国）、イーライリリー（米国）、メルク（米国）などを上位に組み入れました。
- (4) 為替につきましては、ヘッジ（為替の売り予約）は行ないませんでした。

○当ファンドのベンチマークとの差異

ベンチマーク（MSCI All Country World Health Care（税引後配当込み・円換算ベース））が9.2%の上昇となったのに対して、基準価額は10.4%の上昇となりました。

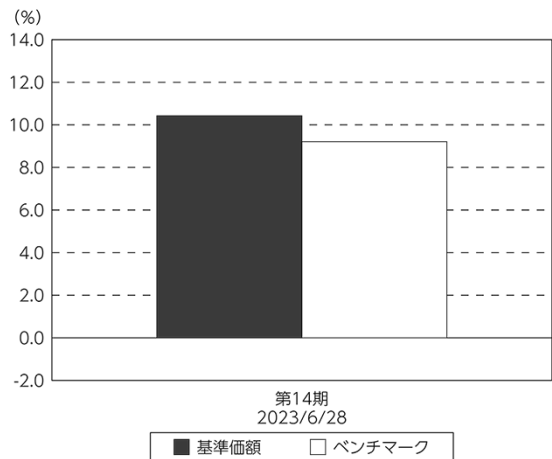
（主なプラス要因）

- ①地域・国別配分で、株価騰落率がベンチマークを上回ったデンマークなどをオーバーウェイトとしたこと、株価騰落率がベンチマークを下回った中国などを非保有としたこと
- ②業種別配分で、医薬品の銘柄選択効果がプラスに寄与したこと
- ③個別銘柄で、株価騰落率がベンチマークを上回ったインテュティブサージカル（米国）、イーライリリー（米国）などをオーバーウェイトとしたこと

（主なマイナス要因）

- ①地域・国別配分で、スイスの銘柄選択効果がマイナスに影響したこと
- ②地域・国別配分で、株価騰落率がベンチマークを上回った日本などをアンダーウェイトとしたこと
- ③個別銘柄で、株価騰落率がベンチマークを下回ったブリストルマイヤーズスクイブ（米国）、サーモフィッシャーサイエンティフィック（米国）などをオーバーウェイトとしたこと

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) ベンチマークは、MSCI All Country World Health Care（税引後配当込み・円換算ベース）です。

◎分配金

今期の収益分配金については、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり1,550円とさせていただきます。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第14期
	2022年6月29日～ 2023年6月28日
当期分配金 (対基準価額比率)	1,550 3.809%
当期の収益	1,550
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	29,139

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

・投資環境

- (1) 米国経済は、雇用や個人消費などの経済指標は底堅く推移していますが、引き続きインフレ率には注視が必要です。6月のFOMCでは、政策金利は据え置きとなりましたが、追加で複数回の利上げが行なわれる可能性が高いとみています。利上げの影響などを受けて景気減速が進み今後のインフレ率は低下していくと想定されますが、引き続き金融政策や景気、物価に対して警戒が必要です。
- (2) 欧州経済は、6月のユーロ圏製造業PMI（購買担当者景気指数）がおよそ1年間にわたり景気判断の基準となる50を下回るなど、景気の低迷が続いています。一方で、ECB（欧州中央銀行）が注視する6月のユーロ圏CPIの食品、エネルギーを除いたコアインフレ率は前月と比較して一段と高まっており、物価動向は必ずしも楽観できない状況です。引き続き足元の金融引き締め政策が企業業績や景気に与える影響に注視が必要です。

・運用方針

- (1) 当ファンドはボトムアップアプローチを重視し、成長性・利益構造・財務内容などの観点から、グローバルにヘルスケア市場をリードしていくことができる企業群に投資します。ポートフォリオ構築にあたっては、地域・国別配分、業種別配分ともに市場の時価総額構成比を意識した配分を行ない、世界のヘルスケア株市場全体の動きを反映したりターンの獲得を目指します。
- (2) 業種別配分としては、株価バリュエーション（投資価値評価）に割安感のある銘柄が多い医薬品のオーバーウェイトを維持する一方、コロナ禍の収束による病院の稼働率回復の恩恵期待から株価が上昇したヘルスケア機器・用品のウェイトを引き下げる方針です。引き続き、病院の人件費や医療費の増加などがリスク要因になると考えられるヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービスのアンダーウェイトを維持する考えです。
- (3) 銘柄選択において、今後の新薬開発の動向や薬価の見通し、業界内でのM&A（企業の合併・買収）、ヘルスケア政策の方向性などに注意したうえで、株価バリュエーションが割安な銘柄への投資を重視していく方針です。

今後とも、引き続きご愛顧を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 6 月29日～2023年 6 月28日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 618 (294) (294) (29)	% 1.650 (0.787) (0.786) (0.077)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等 ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	22 (22)	0.059 (0.059)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	11 (11)	0.029 (0.029)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	16 (15) (1) (0)	0.044 (0.040) (0.003) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	667	1.782	
期中の平均基準価額は、37,428円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

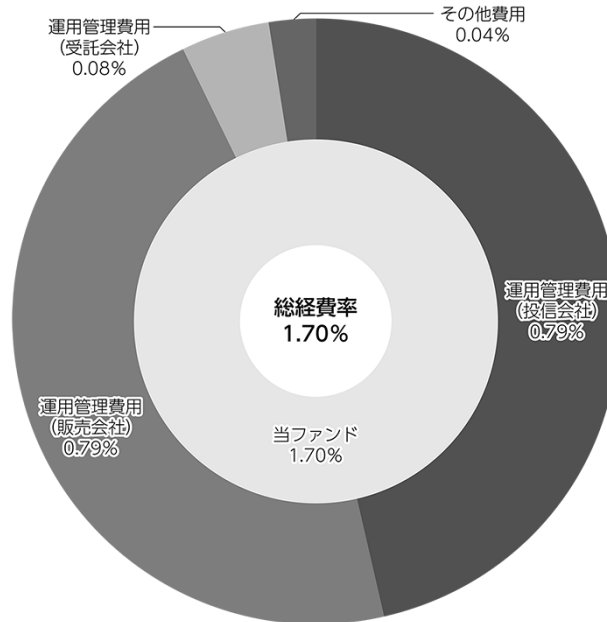
* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.70%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年6月29日～2023年6月28日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 12	千円 45,556	千株 1	千円 5,373
	アメリカ	百株 1,286	千米ドル 18,463	百株 386	千米ドル 6,028
外	イギリス	100 (79)	千英ポンド (-)	127	千英ポンド 256
	スイス	100	千スイスフラン 1,775	15	千スイスフラン 266
国	デンマーク	85	千デンマーククローネ 7,403	9	千デンマーククローネ 1,042
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	—	—	44	112
	フランス	58	542	9	99

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

*()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2022年6月29日～2023年6月28日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	4,195,733千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,428,859千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.22

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2022年6月29日～2023年6月28日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 3,222	百万円 —	% —	百万円 973	百万円 1	% 0.1

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	2,086千円
うち利害関係人への支払額 (B)	0.661千円
(B) / (A)	0.0%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

(2023年6月28日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
		千株	千株	千円
医薬品 (100.0%)				
武田薬品工業	2.9		10.2	46,450
中外製薬	1.6		5	20,750
合 計		4	15	67,200
	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	2	2	< 1.6% >

*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

*銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

*評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

外国株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ABBOTT LABORATORIES	39	110	1,195	172,027	ヘルスケア機器・用品
ABBVIE INC	31	69	927	133,406	バイオテックノロジー
AMGEN INC	9	12	288	41,474	バイオテックノロジー
BECTON, DICKINSON	12	18	464	66,877	ヘルスケア機器・用品
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	18	55	504	72,584	バイオテックノロジー
BIOGEN INC	4	9	254	36,637	バイオテックノロジー
BOSTON SCIENTIFIC CORP	—	175	936	134,673	ヘルスケア機器・用品
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	73	116	751	108,070	医薬品
THE CIGNA GROUP	12	6	178	25,632	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
CVS HEALTH CORP	26	24	164	23,714	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
DANAHER CORP	20	36	841	121,092	ライフサイエンス・ツール/サービス
EDWARDS LIFESCIENCES CORP	24	76	685	98,614	ヘルスケア機器・用品
GILEAD SCIENCES INC	48	106	805	115,916	バイオテックノロジー
IDEXX LABORATORIES INC	—	10	484	69,661	ヘルスケア機器・用品

野村世界業種別投資シリーズ（世界ヘルスケア株投資）

銘柄	株数	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
ILLUMINA INC	7	18	330	47,502	ライフサイエンス・ツール/サービス	
INSULET CORP	—	15	440	63,418	ヘルスケア機器・用品	
INTUITIVE SURGICAL INC	11	35	1,155	166,179	ヘルスケア機器・用品	
JOHNSON & JOHNSON	51	89	1,455	209,341	医薬品	
ELI LILLY & CO.	18	47	2,183	314,089	医薬品	
MERCK & CO INC	60	156	1,771	254,870	医薬品	
PFIZER INC	79	132	483	69,547	医薬品	
STRYKER CORP	14	17	507	73,067	ヘルスケア機器・用品	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	12	23	1,172	168,633	ライフサイエンス・ツール/サービス	
UNITEDHEALTH GROUP INC	19	45	2,211	318,178	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	
VERTEX PHARMACEUTICALS	5	22	763	109,868	バイオテクノロジー	
ZIMMER BIOMET HOLDINGS INC	14	21	304	43,751	ヘルスケア機器・用品	
ZOETIS INC	—	38	648	93,306	医薬品	
MEDTRONIC PLC	40	66	575	82,752	ヘルスケア機器・用品	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	651 24	1,551 28	22,484 —	3,234,893 <74.9%>	
(イギリス)			千英ポンド			
GSK PLC	82	—	—	—	医薬品	
ASTRAZENECA PLC	37	103	1,158	212,346	医薬品	
GSK PLC	—	68	96	17,711	医薬品	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	120 2	172 2	1,254 —	230,058 <5.3%>	
(スイス)			千スイスフラン			
NOVARTIS AG-REG	29	81	723	116,456	医薬品	
ROCHE HOLDING (GENUSSCHEINE)	13	46	1,256	202,310	医薬品	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	42 2	127 2	1,980 —	318,766 <7.4%>	
(デンマーク)			千デンマーククローネ			
NOVO NORDISK A/S-B	31	108	11,405	241,346	医薬品	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	31 1	108 1	11,405 —	241,346 <5.6%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
FRESENIUS SE & CO KGAA	44	—	—	—	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	44 1	— —	— —	— <—%>	
(ユーロ…フランス)						
SANOFI	19	67	664	104,653	医薬品	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	19 1	67 1	664 —	104,653 <2.4%>	
ユ ー ロ 計	株数・金額 銘柄数<比率>	63 2	67 1	664 —	104,653 <2.4%>	
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	910 31	2,027 34	— —	4,129,718 <95.6%>	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2023年6月28日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	4,196,919	92.7
コール・ローン等、その他	329,304	7.3
投資信託財産総額	4,526,223	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建純資産（4,135,303千円）の投資信託財産総額（4,526,223千円）に対する比率は91.4%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=143.87円、1英ポンド=183.33円、1スイスフラン=160.96円、1デンマーククローネ=21.16円、1ユーロ=157.52円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年6月28日現在)

○損益の状況 (2022年6月29日～2023年6月28日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,526,223,868
コール・ローン等	324,381,260
株式(評価額)	4,196,919,647
未収配当金	4,922,961
(B) 負債	206,235,944
未払収益分配金	171,081,885
未払解約金	143,830
未払信託報酬	34,939,746
未払利息	665
その他未払費用	69,818
(C) 純資産総額(A-B)	4,319,987,924
元本	1,103,754,097
次期繰越損益金	3,216,233,827
(D) 受益権総口数	1,103,754,097口
1万口当たり基準価額(C/D)	39,139円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	59,762,860
受取配当金	59,111,793
受取利息	649,538
支払利息	1,529
(B) 有価証券売買損益	332,956,184
売買益	620,489,996
売買損	△ 287,533,812
(C) 信託報酬等	△ 62,258,782
(D) 当期損益金(A+B+C)	330,460,262
(E) 前期繰越損益金	147,144,646
(F) 追加信託差損益金	2,909,710,804
(配当等相当額)	(1,362,737,872)
(売買損益相当額)	(1,546,972,932)
(G) 計(D+E+F)	3,387,315,712
(H) 収益分配金	△ 171,081,885
次期繰越損益金(G+H)	3,216,233,827
追加信託差損益金	2,909,710,804
(配当等相当額)	(1,362,737,872)
(売買損益相当額)	(1,546,972,932)
分配準備積立金	306,523,023

(注) 期首元本額は453,597,365円、期中追加設定元本額は1,107,549,954円、期中一部解約元本額は457,393,222円、1口当たり純資産額は3,9139円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額14,557,373円。

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2022年6月29日～2023年6月28日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2022年6月29日～ 2023年6月28日
a. 配当等収益(経費控除後)	50,287,073円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	280,173,189円
c. 信託約款に定める収益調整金	2,909,710,804円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	147,144,646円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	3,387,315,712円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	30,689円
g. 分配金	171,081,885円
h. 分配金(1万円当たり)	1,550円

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金（税込み）	1,550円
----------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

信託期間を3年更新し、信託期間終了日を2027年6月28日とする所要の約款変更を行ないました。
 <変更適用日：2023年3月23日>